

2025

発行日 毎月1日 通算発行 466号

2



協会報

今月のトピックス

令和7年

(一社)石川県建設業協会
石川県総合建設業協同組合

合同新年会の開催



災害復興の足音



《石川の工芸シリーズ®》

金沢市立中村記念美術館蔵

まりかねがらす とうとう うめ か
截金硝子香合「梅が香」

やまもと あかね
山本 茜【昭和52(1977)年ー】

制作年/令和4(2022)年 サイズ/径6.5×高さ4.3cm

作家は金沢市生まれ。独学で截金を始めたのち、重要無形文化財「截金」保持者の江里佐代子氏に伝統的截金技法を教わる。その後、ガラスの中に截金を封入するという独自の技法を生み出した、唯一の「截金ガラス」作家である。焼き合わせた金箔を髪の毛より細い線や方形等に切り、筆先にとって文様を描く截金。これをガラスに施し、その上からさらにガラスを重ねて融着することで、截金が空中に漂っているような美しさ、幻想的な雰囲気を出す作品となる。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号

TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2025

2



《石川の工芸シリーズ®》
おりがねから まこと こう つか
截金硝子香合「梅が香」
山本 西(やまもと あかね)

1 今月のトピックス

令和7年 (一社)石川県建設業協会 石川県総合建設業協同組合 合同新年会の開催 1

2 災害復興の足音 2

3 石川県土木部だより 4

応急仮設住宅の整備について

石川県土木部建築住宅課

4 今月の「輝き！」さん No.118 6

吉田道路株式会社 つかだ ゆうし 塚田結枝さん

5 協会だより

令和6年度防災土育成協力事業所の認定 7

地区協会事務担当者説明会の開催 7

6 石川県土木施工管理技士会だより

第5回正副会長会議の開催 7

7 2024年度第3回 建設業景況調査 (石川県版) 8

東日本建設業保証(株) 石川支店

“ふる里”を創り“ふる里”を守る建設産業
一般社団法人
石川県建設業協会
GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION

> ホーム
> 協会案内
> お知らせ
> 講習会・研修会
> 協会報
> 商名称許入札参加
> お問い合わせ

イメージアップ工事を通して
企業への贈「石川をつくる」

今月の「輝き！」さん
現場で活躍する
女性のカッコイイ

建設共済保険
建設共済保険

こちらで地区協会等の
情報発信をしております。
ぜひご覧ください。

ホームページをご覧ください

今月のトピックス

令和7年 (一社)石川県建設業協会 合同新年会の開催 石川県総合建設業協同組合

石川県建設業協会及び石川県総合建設業協同組合は、1月16日(木)午後6時から、ホテル日航金沢において令和7年合同新年会を開催しました。

馳 浩石川県知事をはじめ、国会議員、県議会議員、国・県の関係行政機関の長及び協会関係団体代表者等の来賓の他、協会員、組合員を合わせた182名が参加しました。

西茶屋芸妓による舞「舞ごよみ」で幕開け。冒頭、主催者を代表して、鶴山庄市市長(組合理事長)が、「昨年は、能登半島地震や奥能登豪雨等、発生当初から自ら被災された立場でありながら、県内各地より応急・緊急復旧のために積極的に対応していただきあらためて御礼申し上げる。本年は、いよいよ創造的復興に向けた工事が本格的に始まる“いわゆる復旧・復興の元年”であり、その位置づけの中でできる限りの対応を行いたい。また、現在、国が権限代行で大規模な復旧工事に取り組んでいるが、我々建設業協会も共にできる限りの対応・取り組みをしてまいりたい。業界では人出不足や従業員の高齢化、デジタル化の一層の推進等、様々な課題があるが、国会議員や県議会議員の先生方、行政機関や建設関係団体の皆様のご理解とご支援を賜りながら、様々な協議を重ね、少しでも課題解決や状況改善に取り組んでまいりたい。今後、当協会が団結して“石川県建設業協会ここにあり”という気概をもって対応してまいりたい。」と挨拶しました。

続いて、来賓の馳 浩知事、佐々木 紀衆議院議員、佐藤信秋参議院議員、高松 諭国土交通省北陸地方整備局長からご祝辞をいただき、馳知事は、「昨年は建設業協会の皆さん、産業界の皆さんに特段のご配慮をいただき、同時に特段のご無理を申し上げた。皆さんは経営だけでなく社員や従業員の皆さんにも随分と無理を言って復旧・復興に当たっていただいたものと思っており、知事としてあらためて御礼申し上げます。昨年、国会議員の先生方のお陰で石川県に1兆円を超える予算がつき、今後どのように有効活用していくかは皆さんにかかっている。色々なアイデアもあり、これを県民のために何としても繋げることが重要と考える。」と述べられました。来賓祝辞の後、善田善彦石川県議会議長の乾杯の発声で和やかに歓談となり、真柄卓司県建設業協会副会長の中締めにより閉会しました。



会場



鶴山庄市市長(組合理事長)挨拶



馳 浩
石川県知事



佐々木 紀
衆議院議員



佐藤信秋
参議院議員



高松 諭
北陸地方整備局長



善田善彦
石川県議会議長

災害復興の足音

復旧・復興工事に携わる作業従事者の宿泊拠点が完成

県建設業協会と連携して(一社)珠洲建設業協会が、エステック不動産投資顧問(株)と建設整備を進めていた珠洲市上戸町北方の「能登復興建設作業員宿舎珠洲1号」96戸が全戸完成しました。

この施設は、昨年11月に48戸、12月末に48戸が完成し、本年1月から本格運用を開始。木造個室(モバイルユニットハウス)、共用部の多目的棟、シャワー棟、ランドリー棟で構成され、居室は、エアコン・小型冷蔵庫完備でWi-Fiが使用できます。食事は、平日朝夕に地元「すずキッチン」のお弁当が提供されます。また、本年5月を目途に120戸を増設予定です。



施設外観 (南東側から撮影)



施設外観 (南西側から撮影)



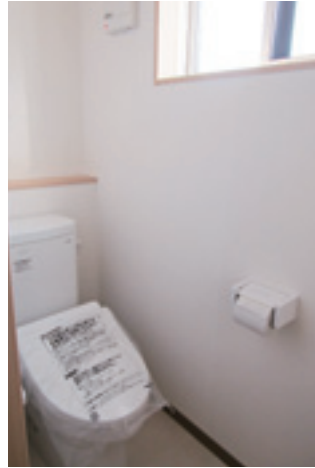
- **設置場所**
珠洲市上戸町北方地内
(珠洲警察署の北約80m)
- **利用**
1カ月以上単位で事前申込



居室内



洗面台



トイレ



シャワー



ランドリー



多目的棟（飲食可）



すずキッチン



すずキッチンの皆さん（前中央が坂本代表）

すずキッチンの坂本代表から

地域の復興の第一歩は食からと思い、珠洲市内にあった飲食店4店舗で“すずなり食堂”を立ち上げました。珠洲は風景がきれいで時間がゆったりと流れ、人もあったかい場所です。地震と豪雨の2度の災害に遭いましたが、住み続けたいと言う人はたくさんいます。一日でも早く暮らしや生活が戻るよう、復旧・復興の工事で来られる皆さん、うちのお弁当を食べて元気をつけてくださいね。

取材協力：エステック不動産投資顧問(株)、合同会社すずキッチン

石川県建設業協会では、行政と連携を取りながら一刻も早い復旧・復興に向け、引き続き各種業務に従事してまいります。

／／ **がんばろう能登！** **がんばろう石川！** ／／

石川県土木部だより

応急仮設住宅の整備について

石川県土木部建築住宅課

1 はじめに

昨年1月1日に発生した令和6年能登半島地震は、最大震度7を観測し、上下水道や道路の寸断、多くの建物の倒壊や損傷、液状化による傾斜など、県内各地で甚大な被害が発生しました。

石川県内における住家の被害は、令和6年12月27日時点で10万棟を超え、中でも能登6市町（七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町）においては、全壊が約5,800棟、半壊が約16,000棟にも上りました。

県では、住宅に関する災害対応として、昨年1月4日から開始した被災建築物応急危険度判定に始まり、応急仮設住宅の整備や恒久住宅の確保など、様々な支援に取り組んでまいりました。

本稿では、応急仮設住宅の整備について紹介します。

2 応急仮設住宅の整備

1) 基本方針

応急仮設住宅については、①～③の3つのタイプがあり、入居を希望する世帯や人数などを踏まえ、市町がタイプや戸数を決定し、県が建設を行っています。

①プレハブ（従来型）

迅速かつ大量に供給し、避難所生活の早期解消を図ることを目的に、学校のグラウンドや公園などの公有地に、長屋型のプレハブや移動式（ムービングハウス、トレーラーハウス）などの応急仮設住宅を整備し、入居期間終了後は撤去します。（写真1）

②木造長屋（まちづくり型）

市街地や市街地近郊のまとまった空き地などに、里山里海の景観に配慮した新たなまちのイメージで長屋住宅を建設しました。将来的には、市町有住宅としての活用も想定しています。（写真2）（写真3）

③木造戸建て風（ふるさと回帰型）

地元集落内の空き地や共有地などに建設しました。将来的には、市町有住宅として活用した後に、入居者のご希望があれば有償でお譲りすることも可能とします。（写真4）



写真1 三崎町第1団地（珠洲市）



写真2 三井町第1団地（輪島市）



写真3 上戸町第3団地（珠洲市）



写真4 下唐川第2団地（穴水町）

2) 整備基準

①住戸の規模（図1）

広 さ：1～2人用（20㎡）、2～4人用（30㎡）、4人以上用（40㎡）

階 数：平屋建て（敷地の状況により2階建て）

その他：車いす利用者用住戸（団地の5%程度）

②住戸の仕様

所要室：洋室（又は和室）、台所、洗面所、

浴室、トイレ、物干し場など

住環境：断熱材、窓は断熱サッシなど

バリアフリー：玄関前にスロープ、部屋間の段差解消

設 備：IHコンロ又はガスコンロ、エアコン（冷暖房）、

洋式トイレ（暖房便座）など

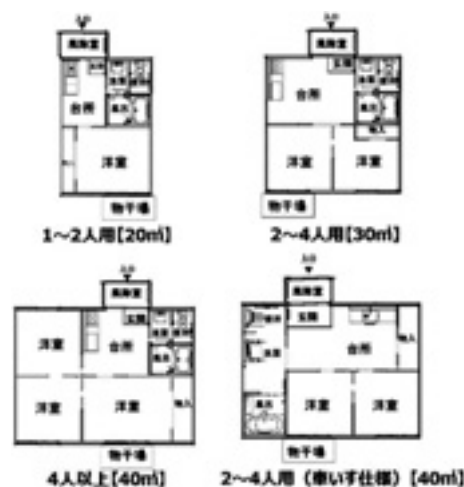


図1 間取り図の例

③集会施設、駐車場など

集会施設については、20戸以上50戸未満の団地に、40㎡程度の談話室を1か所、50戸以上の団地に、90㎡程度の集会所を1か所設置することを基本とし、団地周辺にある既存集会施設などの状況を考慮しながら、団地内のコミュニティや高齢者の見守りなどに配慮した場所に設置することとしました。また、駐車場は、各戸に対して原則1台分を確保し、基本的に碎石を敷いた上にロープで区画を設け、車いす利用者、来客者、福祉車両用はアスファルトで舗装することとしました。このほか、敷地内には、団地案内図、掲示板、ごみ置き場などを設置しています。

3) 整備状況

能登半島地震の被災者向けの応急仮設住宅については、昨年12月に必要戸数6,882戸全ての建設を完了しました。また、奥能登豪雨により浸水被害が確認された応急仮設住宅についても、昨年12月までに修繕を終え、被災者の方に再度入居いただいております。

昨年9月21日に発生した奥能登豪雨の被災者向けの応急仮設住宅については、必要戸数286戸のすべてに着工しました。建設用地が限られるため、全団地で2階建ての木造住宅を建設することとし、2月から遅くとも3月末までの完成を目指しています。

3 おわりに

発災直後から、仮設住宅の整備をはじめ、応急修理制度の対応や県有施設の復旧業務など、施工業者の皆様には多大なるご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

今後は恒久的な住まいの再建へと軸足を移し、いしかわ型復興住宅モデルプラン集や災害公営住宅の整備など、被災者の様々な再建ニーズに応じた支援に引き続き取り組んでまいります。

今月の「輝き！」さん
No. 118



<p>吉田道路株式会社</p>	<p>つかだ ゆうし 塚田結枝さん</p>
<p>所 属：工事部 経験年数：1年9カ月 年 齢：20歳</p>	

金沢市豊穂町の本社事務所に「今月の輝きさん」を訪ねました。

—あなたの会社について教えてください。

弊社は、昭和25年創業。「道なき道を、道づくりで拓く。」を企業理念に、道路舗装工事や土木・建築工事等の建設事業、店舗・宅地開発や不動産売買・管理等の土地活用事業を展開しており、私は「工事部機械班」に所属しています。

—建設業を選んだ理由、入社のもち等について教えてください。

高校の総合グリーン科学科で農業土木に関することを学んでいた私は、登校時に行われていた歩道の舗装工事が、下校時には終わっており、その速さと真新しいアスファルト舗装の様子を見て衝撃を受けました。それから道路工事に興味を持ち、自分の仕事はこれしかないと思い土木の道に進みました。吉田道路は、高校への求人票をもとに選び、会社見学会に参加して県内で数少ないアスファルトのプラントを有すること等に魅力を感じ、入社させていただきました。

—仕事の苦勞や、やりがいを感じるのどのようなときですか？

現場で舗装用ローラーを操縦し転圧作業を担当していますが、初めの頃はアスファルトがタイヤに貼りつかないように撒く油のタイミングや、天候や気温で変わる作業の見極めが難しく、失敗していました。でも現場を重ねるうち、自分の選んだ道が間違いないことを実感し、様々な現場で学びながら楽しく仕事をしています。

—休日はどのように過ごしていますか？

一人でカラオケに出かけてアニメソングを歌ったり、ネットや地図アプリで見つけた変わった場所に行っています。福井県のくにみクラゲ公民館は、公民館を改造したミニ水族館で、ウツボやタツノオトシゴ等もいて面白く、入場料500円の価値がありました。高校時代は登山部に所属し白山や立山に登っていたので、今でも年に1~2回ですが友人と白山近辺の山に登っています。できれば南アルプスの山々を巡ってみたいと思っています。



—最後に建設業を目指す後輩たちに一言。

仕事をしていく中で叱られることは多々ありますが、厳しい反面、とても大切にしてもらっていると感じます。やりがいのある仕事ですから、これからの建設業を一緒に盛り上げていきましょう。



けんせつ一番星☆

[-Sunset Express-MOVE]
毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。是非お聞きください。



協会だより

令和6年度防災士育成協力事業所の認定

当協会は、石川県から「令和6年度防災士育成協力事業所」に認定され、昨年12月26日(木)、県庁で行われた認定書交付式において、馳 浩知事から鶴山庄市会長に認定書が手渡されました。



また、交付式に先立ち、防災士育成協力事業所シンボルマーク表彰式が行われ、最優秀賞の西江枝理氏(北陸大学職員)が表彰されました。

防災士育成協力事業所には、当協会の他、会員企業の鈴平建設、日本海建設、北能産業、真柄建設、南建設、

宮地組及び晃洋システム、砂山商事、損害保険ジャパン、第一生命保険の10事業所が認定されました。

当協会では、今後さらに、県の防災行政の推進に寄与し、地域防災力の向上に向け、積極的に取り組んでまいります。

地区協会事務担当者説明会の開催

1月20日(月)から24日(金)までの間、金沢等9会場において県内9地区協会から250名が参加し、今年度の説明会を開催しました。

【プログラム】

- ①建設業における法令遵守について
- ②入札・契約制度について
(石川県土木部監理課)
- 全建協連総合補償制度について(損保ジャパンパートナーズ株式会社)
- 東日本保証からのご案内(東日本建設業保証株式会社石川支店)
- 高齢者の雇用の為の助成金について(独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構石川支部)
- 法定外労災補償制度について(公益財団法人 建設業福祉共済団)



金沢会場



河北会場

石川県土木施工管理技士会だより

第5回正副会長会議の開催

開催日時 令和7年1月14日(火) 12:00~14:30

開催場所 石川県建設総合センター

出席者 岡田康晴会長、向出剛一副会長、池崎義典副会長、宮下英己副会長、事務局2名

下記事項について報告・審議を行いました。

- 北陸地方整備局と北陸三県技士会との意見交換会提案議題について
- その他



2024年度第3回 建設業景況調査（石川県版）

東日本建設業保証(株) 石川支店

<概要>

○収益は、「減少」傾向に転じている。 来期は、「増加」傾向に転じる見通し。
○官公庁工事は、「増加」傾向がかなり強まっている。 来期は、「減少」傾向がかなり強まる見通し。
○受注総額は、「増加」傾向が強まっている。 来期は、「減少」傾向が強まる見通し。

【今期：前期（2024年7～9月）に比べた今期（2024年10～12月）の状況】

【来期：今期（2024年10～12月）に比べた来期（2025年1～3月）の状況】

項 目	前期	今期		来期		
		B.S.I.値	推移方向 (前期比)	B.S.I.値	推移方向 (今期比)	B.S.I.値
(1)業 況 等	地元建設業界の景気※	5.0	↗	5.5	↗	7.5
(2)受 注	受 注 総 額※	6.0	↗	13.5	↘	6.5
	官 公 庁 工 事※	4.5	↗	15.0	↘	2.5
	民 間 工 事※	3.0	↘	1.0	↘	▲5.0
(3)資 材	資 材 の 調 達※	▲14.5	↗	▲11.0	↘	▲14.0
	資 材 の 価 格	30.5	↗	36.0	↘	31.0
(4)労 務	建 設 労 働 者 の 確 保※	▲22.0	↘	▲27.0	↗	▲26.5
	建 設 労 働 者 の 賃 金	26.0	↘	25.0	↘	21.0
(5)収 益	※	1.5	↘	▲0.5	↗	1.5

(注)・B.S.I.値のプラスは、良い、増加、容易、上昇の傾向を示す。
・B.S.I.値のマイナスは、悪い、減少、困難、下降の傾向を示す。
・表中の※印は、季節調整項目を示す。

【B.S.I.の見方】

B.S.I.(ビジネス・サーベイ・インデックス=景況判断指数)は、「良い」「悪い」など意識調査の回答数の構成比から全体の趨勢を判断するものです。以下の計算式により数値化して求められます。

$$\frac{(\text{「良い」と回答した企業割合} - \text{「悪い」と回答した企業割合}) \times 1/2}{\text{※「変わらず」は除いて計算}}$$

お問い合わせ先

東日本建設業保証(株) 石川支店 TEL: 076-242-1231



建設事業主のみなさん

「建設技能者の人材確保・育成」「現場作業員の福祉の向上」
のために建退共制度に加入しませんか!

建設業の退職金は
日本全国どこの現場でも
公共工事も民間工事も

建退共



独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866



建退共



お問い合わせは

建退共石川県支部

〒921-8036 金沢市弥生2-1-23 (石川県建設総合センター1F)
TEL076-242-2608(代) FAX076-241-9258

ますます安心。充実の制度。



契約者割戻金制度が始まっています。

契約者
割戻金制度により
**掛金負担が
軽減**

手厚い補償
保険金区分合計
最高**5,000万円**

労働者と企業の
**リスクを
カバー**

社員と家族、会社を守るために。

建設共済保険

法定外労災補償制度

今すぐ、ご加入を!

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階

■ 取扱機関：(一社)石川県建設業協会
〒921-8036 金沢市弥生2-1-23
Tel. 076-242-1161 Fax. 076-241-9258



正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



0120-913-931

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00 (土日祝を除く)

建設共済保険

検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>



この冊子は、植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用した印刷物です。